

# 日刊 建設 互 業 新 聞

## 空間情報総括監理技術者

### 第1回合格者は24人

測量協会

▽瀬戸島政博▽高泰明  
▽津留宏介▽住田英二▽

北原良彦▽村木広和▽竹  
本孝▽内田修▽福田真▽  
秋山幸秀▽赤松幸夫▽木  
下牧▽野村出▽畠周平▽  
望月貫一郎▽楠寛▽渡辺  
智晴▽東田正樹▽土方聡  
▽大友正晴▽横山巖▽沼  
田洋一▽神原孝行▽大石  
哲。

日本測量協会(宮崎大和会長)は16日、空間情報分野の最上位資格として創設した「空間情報総括監理技術者」の第一回認定資格試験の合格者を発表する。7月30日の筆記試験、9月9日の面接試験を経た最終の合格者は24人。合格率は33%だった。資格の有効期間は5年。更新には、同協会が行う「測量技術者継続教育制度(測量CPD)」によるポイントの取得が必要になる。

6月に受験者を募集。72人の応募者の中から書類審査で受験資格を満たす49人を選定し、筆記試験を行った。筆記試験にパスした24人が面接試験に挑み、全員が合格した。合格者の平均年齢は44・

7歳。ほとんどが大手測量会社や地域の測量・コンサル会社に所属している。試験では、▽空間情報技術に関連する知識と経験▽課題解決のための空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力などの能力をみた。業務を確実に遂行できる人格・責任感・リーダーシップも合格条件とした。試験は関連図書を持ち込みやインターネットの利用を認めるユニークなスタイルとした。

同協会は、公共発注機関が各種提案型入札で業務を発注する際、合格者を評価要素として利用するよう働きかけている。合格者は次の24人(敬称略)。